

埼玉県5か年計画(令和4～令和8年度)
【第3期 生きる力と絆の埼玉教育プラン】
埼玉県教育振興基本計画(平成31～令和5年度)
基本理念:豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 目標Ⅰ 確かな学力の育成 | 目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実 |
| 目標Ⅱ 豊かな心の育成 | 目標Ⅶ 家庭・地域の教育力の向上 |
| 目標Ⅲ 健やかな体の育成 | 目標Ⅷ 生涯にわたる学び推進 |
| 目標Ⅳ 自立する力の育成 | 目標Ⅷ 文化芸術の振興 |
| 目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進 | 目標Ⅷ スポーツの推進 |



三郷市立彦糸中学校グランドデザイン

校訓 「大樹に育て」

学校教育目標
磨き合う ・学ぶ糸中 ・心の糸中 ・鍛える糸中



《めざす生徒像》

- ・夢や目標を持って真剣に学ぶ生徒
- ・心身ともに健康でたくましい生徒
- ・礼儀正しく規律を守る生徒
- ・よく働き責任を果たす生徒
- ・人や環境を大切にする生徒

《めざす教員像》

- 生徒のよいところを発見し、生かす教師
- 生徒の変容を期し、常に研修に努める教師
- 生徒の声に耳を傾け、生徒と一緒に考えて考える教師
- 時を守り、場を清め、礼をつくす教師
- 保護者や地域の人に信頼される教師

《令和5年度重点目標、テーマ》(学校像)

信頼される学校 令和の日本型教育の推進
「やればできる」(自信) 「自他の尊重」(思いやり) 「強さと優しさ」(成長)

《令和5年度 5つの重点》

三郷市教育施策大綱 三郷市教育行政の基本方針 令和の日本型学校教育の推進

- ◇三郷の教育「四つの礎」
- ◇学力を確実に伸ばし、夢を持ち、自立した人間の育成
- ◇「第2次日本一の読書のまち三郷推進計画」
- ◇グローバル社会と情報社会に適應できる人材の育成

第3期学力向上推進3か年計画

- | 児童生徒 | 教職員 |
|---------------------------|------------------------|
| ○自ら課題を発見し、主体的に学習できる | ○情熱を持ち、幅広い教養と専門的な知識・技能 |
| ○社会性を身に付け、約束やきまりを守ることができる | ○子どもの心に火をつけ、夢を育む |
| ○自他を認め、肯定できる | ○一人一人に寄り添い、よさを認め成長を支える |

学校研修

【研究主題】三郷市学力向上研究 令和5・6年度委嘱
「未来を切り拓く力を育成する教育の推進」(1年次)
～学習意欲を引き出し自己デザインを高める指導法の工夫～

- ・授業改善
- ・ICTの積極的な活用
- ・校内の環境整備

彦糸中「すごいぞ7か条」

- 1 学校読書活動の深化
※いつでも本を手にする(読書密度の向上)
- 2 やればできる子供たち
※無言清掃、体力向上 など
- 3 環境教育・安全教育の推進
※ゴミのない教育環境、交通事故防止等の安全指導
- 4 教職員の協働体制
※スピード・スマイル・スピリットで実行力ある教職員
- 5 子ども、保護者、地域との人間関係を大切にする学校
※けじめの中に優しさを持ち、子どもとの距離を縮める
- 6 保護者・地域とともに多様な教育活動を進める学校
※地域貢献部、PTA、地域への情報発信と連携
- 7 地域で育つ明るい生徒
※ボランティア、あいさつ、素直な心、地域行事への参加

日々の教育指導

すべての教育活動は「学校教育目標の具現化」へ

1 学ぶ糸中

- 学力がつかないと学校はつまらない
 - ・基礎・基本の着実な定着
→学習習慣づくり(学校は授業が根幹)
 - ・「指導」こそ教師の仕事
→教えるべきことはしっかり教える(指導をためらわない)
→きめ細かな配慮、分からない児童への個別指導
→補完補習の実施

2 心の糸中

- 友だちや先生との人間関係が良くないと学校はつまらない
 - ・良好な人間関係の確立
→「いじめ」、「からかい」「いじり」等は絶対に許さない
 - ・児童との距離を近くに
→けじめをつけさせ、温かく、時には厳しく、フォローアップを忘れずに
→アンテナは高く、情報は広く、言葉かけを大切に

3 鍛える糸中

- がんばることがないとつまらない
 - ・健康で規則正しい生活
→学校生活の充実(時間を守る、きまりを守る、場を考えた行動ができる)
→生活リズム(食事、睡眠、生活習慣)
 - ・体力の向上
→運動好きな生徒(思いっきり汗をかき、力いっぱい運動する生徒)の育成
 - ・安全な生活
→学校生活、登下校、日常生活での安全と安心



【学力の向上】

(授業改善、ICT活用、家庭学習)

- ◎ 授業改善(三郷の授業の基本)
- ◎ 「授業の心得」の確立
- ◎ 教職員表彰制度の活用
- ◎ 英語教室、数学教室の活用
- ◎ 基礎学力の定着
→確認テスト、補完補習(カゴスタ)の実施
- ◎ 数学科の少人数指導の充実
- ◎ 県・全国学力学習状況調査の分析と対策 →テスト前集中学習の実施(全学+4ポイント、県学伸び100%)
- ◎ 学校読書活動の深化(貸出数10%増)
→図書館を使った調べる学習コンクール
- ◎ 英検・漢検・数検、スピーチコンテストへの挑戦(生徒70%)
- ◎ ICTの活用→タブレットの活用、三郷市プレゼンテーションコンテスト
- ◎ 家庭学習の習慣化
→「家庭学習ノート」の活用

【積極的生徒指導の推進】

(落ち着いた学校)

- ◎ チャレンジ3PLUSへの挑戦(入賞者の輩出)
- ◎ 自己肯定感を高める校内環境
→掲示物、ホームページ(新しい掲示物への一新)
- ◎ 教育相談部会の定期的な開催
→個々に対し、組織で対応
- ◎ 生徒のサインを見逃さない、素早く的確な対応
- ◎ 日頃からの生徒と教師の人間関係づくり
- ◎ 担任を中心にすべての教職員での対応
- ◎ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携
- ◎ 生徒面談、保護者面談の実施と活用→家庭との信頼関係
- ◎ 関係諸機関との連携(市教委、適応指導教室等)

【小中連携教育の推進】

(小中及び地域とのさらなる連携)

- <学校評議委員会>
 - ◎ 学校評議協議会の定期的な開催
 - ◎ 学校評価への提言
- <地域連携>
 - ◎ 地域貢献部の活動、PTA等、地域行事への参加
 - ◎ クリーン作戦への参加
 - ◎ 育成会との連携
- <小中連携>
 - ◎ 小中合同授業研究会の実施
 - ◎ 小中職員合同研修会の開催
 - ◎ 児童会、生徒会交流
 - ◎ 小学校との英語教育の連携促進
 - ◎ 小中連携教育の研究
 - ◎ 出前授業の実施

【安心・安全な教育環境づくりの促進】

(教職員事故の根絶)

- ◎ 「心と体の安全点検」の実施と活用→いじめ撲滅(解消率100%)
- ◎ 教職員事故根絶を目指す研修の推進
コミュニケーションと教員版「心と体の安全点検」
- ◎ 生徒指導部会、教育相談部会の定期開催→組織で対応
- ◎ 毎月の安全点検の確実な実施
- ◎ 交通安全指導の充実
- ◎ 防災教育の充実
→避難訓練、ショート訓練
- ◎ 防犯教育の充実
→日常からの防犯教育
→素早い情報提供と注意喚起
- ◎ COVID-19への対応
→自分を守る、他を助ける
- ◎ 保護者とともに学ぶ「SNS教室の開催」
- ◎ 不審者対応に関する教職員研修の実施

【特別支援教育の充実】

(人権教育の推進)

- ◎ ノーマライゼーションの理念に基づいた指導の充実
- ◎ 人権教育の推進
- ◎ 教室等、学習環境の整備
→ユニバーサルデザイン化
- ◎ 個別の学習プランA、Bの活用
- ◎ 親学級との交流促進
- ◎ 保護者との連携
- ◎ 適応指導教室、県立特別支援学校等、外部機関との連携
- ◎ 理解を深める職員研修の実施
→全校体制の確立
- ◎ 先進校等への外部研修の積極参加
- ◎ 市内特別支援学級との交流推進